

報道機関各位

## 第 6 回多職種参加型事例検討会のお知らせ

誰もが住み慣れた地域でその人らしく暮らせる地域を作るため、医療・介護関係者の連携強化を目的として、事例検討会を開催します。

### 日 時

平成 30 年 11 月 8 日 (木) 午後 6 時 45 分から 8 時 30 分まで

### 場 所

箕輪町文化センター ホール

### 内 容

病気のためにターミナルステージを迎えた独居高齢者が、病院から在宅へ退院するにあたり、ご本人が最期までその人らしく暮らすために介護関係者はどのような支援が出来るのか。病気を抱えた高齢者を介護するのに、介護関係者はどんなことを不安に感じるのか、また医療はどのような支援が出来るのか。

日ごろから感じている医療・介護関係者の連携における課題を関係者が事例を通して話し合います。

添付資料  有  無

福祉課 高齢者福祉係  
(課長) 安積 真人 (担当) 鈴木、市川  
電 話 : 0265-70-6622 (直通)  
F A X : 0265-70-6699  
E - mail : fukushi@town.minowa.lg.jp



お得な特典満載の  
みのわファンクラブ  
会員募集中！

MINOWA Fan Club

育てる男が、家族を変える。社会が動く。



箕輪町は、  
イクボス・温かボス  
イクメンを応援します！

イクメンプロジェクト

# 第6回

# 多職種参加型事例検討会

誰もが住み慣れた地域で、その人らしく暮らすことを支援するために、医療や介護がそれぞれの敷居を超えて、連携することが求められています！

医療も介護も分け隔てなく、専門職としてどのような支援ができるのか、それぞれの役割を確認しましょう！

**日時：平成30年11月8日(木) 18:45から20:30**

◆場所：箕輪町文化センター ホール ◆参加費：無料

◆申し込み：裏面申し込み書を下記まで 10月25日までにFAXしてください。

## 事例検討会に参加してみませんか？

### ■事例■

独居で暮らす高齢女性。

介護保険サービスと町内に暮らす家族の支援を受けながら生活してきたが、体調を崩して入院。検査の結果、悪性腫瘍のターミナルステージであることが分かった。

もともとの本人の性格を考慮して家族が告知しない方針。本人の希望によりそのまま自宅へ退院となった。

医師からは現時点では急変の心配はないと説明を受けているが、ショートステイ等介護サービスの受け入れが良くない。

家族は夜間までついてみることは困難であるが、夜間一人になることを心配している。

本人・家族・介護サービス事業所が安心して過ごすためには、どのような取り組みが必要なのでしょうか？

### 事例検討会参加いただいた方からのご意見

多職種の方と顔が見え情報交換ができた

目指す姿のために連携できるといいな

アプローチ法などいろいろな考えを知ることが出来た

### ◆運営委員◆

中川医院 中川 元希 ライフ薬局 千葉只博 居宅介護支援事業所つぼみ 飯塚郁代  
居宅支援事業所スローライフ 上田美峠里 箕輪町社会福祉協議会 荻原香織  
介護支援センターフラワー伊那 五十嵐 周介 訪問看護ステーションみどり 山本千絵  
箕輪町社会福祉協議会 有賀 宏美

連絡・お問い合わせ

箕輪町地域包括支援センター 担当 市川・鈴木

電話：70-6622 Fax：70-6699

箕輪町地域包括支援センター 行

FAX 70-6699

### 多職種参加型事例検討会 申込書

事業所名 \_\_\_\_\_

氏 名	職 種

記入欄が足りない場合は恐れ入りますが、複写してください。

申し込み締め切り 10月25日17時